

地質標本館 特別展

Japan Association for Quaternary Research
70th Anniversary
日本第四紀学会
創立70周年記念事業

第四紀

The Quaternary

過去・現在・未来を
つなぐ地質時代

2026 6.30(火)~
10.25(日)



第四紀は、約260万年前から現在まで続く地質時代です。この時代には、気候変動や地震、火山噴火といった自然現象が繰り返し起こり、人類の歴史とも深く関わってきました。これらをひも解くことで、今後起こり得る地球環境の変化に対し、私たちがどのように生きていくべきかを考える手がかりが得られます。本展示では、第四紀に起きたさまざまな事象を紹介します。

主催：  日本第四紀学会



国立研究開発法人産業技術総合研究所
地質調査総合センター



特別講演会

会場：地質標本館 映像室

8.2(日)

大地に刻まれた痕跡から
巨大地震を探る

穴倉 正展
(地質調査総合センター)

火山灰が読み解く
日本列島の歴史

鈴木 毅彦
(東京都立大学)

入場無料

開催場所：
地質標本館 1階ホール

開館時間：
9時30分～16時30分

休館日：毎週月曜日、9/5
(休日の場合は翌平日) (臨時休館)

国立研究開発法人産業技術総合研究所
地質調査総合センター

 産総研
ともに挑む。つぎを創る。



GEOLOGICAL MUSEUM
地質標本館



〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1
TEL：029-861-3750 <https://www.gsj.jp/Muse/>